

地域経済活性化フォーラム in 相模原

インダストリー 4.0 への挑戦

～ロボットを活用した地方創生～

少子高齢化による労働力減少が進む日本において、企業が生産性を向上させ、経済が活性化していくには、高い生産性を持った自立共存型の新しい都市像が求められています。

今回のフォーラムでは、地方創生を担う独立拠点都市（ローカルハブ）の提案や、中小企業への産業用ロボット導入支援を中核とする「首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト」の可能性、ロボット導入による中小企業の活性化事例の紹介などから、高い生産性を持つ地域経済の実現に必要な担い手・役割・方策について、企業や大学、金融機関等と共に考えていく場として開催します。

開催日：平成 29年 (2017年) **5月25日(木)**

開催時間：16:00-19:40 (15:30より受付開始)

開催場所：サン・エールさがみはら

講演：2階 ホール / 交流会：1階 多目的室

参加費：無料 定員：150名 (応募多数の場合は申込み順)

申込み：HP 及び申込書を FAX

PROGRAM

プログラム 1

16:15

↓



「今後の地方創生を担う独立拠点都市（ローカルハブ）とは」

講師 **神尾 文彦 氏**
株式会社野村総合研究所
社会システムコンサルティング部長兼公共プロジェクト室長 主席研究員

都市と地方の共生を実現するためには、人口の多寡にかかわらず高い生産性を持った独立拠点都市（ローカルハブ）の存在が重要です。日本と同じ人口減少・高齢化が進むドイツにおいて発展する地方都市を参考に、日本のローカルハブの候補、相模原市のポテンシャル等についてお話しします。

プログラム 2

17:25

↓



「ロボットビジネスによる地方創生のモデルケースとしての相模原の可能性」

講師 **佐藤 知正 氏**
東京大学 名誉教授

相模原市で展開中のロボットビジネスによる地方創生の取組について、モデルケースとなる構成や特長を紹介するほか、今後について展望します。また、2020年のワールドロボットサミットに向けて、こうした博覧会の意義や、関連産業の発展の可能性を取り上げます。

プログラム 3

18:05

↓

生産効率 2.5 倍、受注増加をもたらした ロボット溶接システムの導入

株式会社 第五電子工業

ロボット導入の成果は品質向上と 社員のカイゼンに対する意識改革

株式会社 広和産業 システムインテグレータ：大沢工業 株式会社

18:40

↓

交流会

※交流会終了後、ロボット導入支援センター見学（希望者のみ）

主催：首都圏南西部地域産業活性化フォーラム運営委員会
関東財務局横浜財務事務所

後援(予定)：関東経済産業局、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所、(一社)首都圏産業活性化協会(TAMA 協会)

協力(予定)：相模原商工会議所、町田商工会議所、城山商工会、津久井商工会、相模湖商工会、藤野商工会、
(公財)相模原市産業振興財団、相模原市、町田市、多摩高度化事業協同組合、株式会社町田新産業創造センター、
神奈川県中小企業団体中央会、株式会社さがみはら産業創造センター

お問合せ先：首都圏南西部地域産業活性化フォーラム事務局

株式会社さがみはら産業創造センター
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
TEL：042-770-9119 / FAX：042-770-9077
HP：http://nansei-forum.jp

インダストリー 4.0 への挑戦

～ロボットを活用した地方創生～



神尾 文彦 氏

株式会社野村総合研究所
社会システムコンサルティング部長兼公共プロジェクト室長
主席研究員

PROFILE

慶應義塾大学経済学部卒業後、野村総合研究所入社。都市・地域戦略、社会インフラ政策戦略、公的組織の改革等の業務に関わる。総務省「公営企業の経営戦略の策定等に関する研究会」委員をはじめ国・自治体の委員を歴任。現在は、横浜商工会議所「経済政策委員会」委員、「行政要望小委員会」副委員長など。近著「地方創生2.0」(共著)では、地方都市が「ローカルハブ」として再生することを提唱し、世界中とつながるローカルハブたりうる条件や、ローカルハブとして発展するためのステップを提示している。



佐藤 知正 氏

東京大学 名誉教授

PROFILE

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、通商産業省工業技術院電子技術総合研究所、東京大学先端科学技術研究センター教授、大学院情報理工学系研究科教授を経て、2013年4月より現職に就任。研究分野は社会共創ロボティクス、環境ロボット、人間共棲ロボット。日本ロボット学会会長を務められるなど、長年にわたりロボット研究に携わる。2020年に愛知県で開催される「ワールドロボットサミット」実行委員会の委員長も務めている。



株式会社 第五電子工業

ステンレスを中心とした金属部品加工を行っており、主に半導体の製造装置部品を製作している。約3年前に溶接ロボットを導入したが、人手による加工部品の脱着に時間を要しロボットの停止時間が課題となった。そこで、ロボットが常に稼働できるように生産システムの改善に取り組むことで、生産効率は約2.5倍に向上した。生産性の向上だけでなく、同一品質を安定的に供給することが可能となり受注増加をもたらすと同時に、若手人材の採用にも繋がっている。

語句説明

インダストリー 4.0

ドイツが進める国家プロジェクトで、「第4次産業革命」を意味する。IoT(モノのインターネット)などの高度なデジタル技術を活用し、製造業が垂直方向につながることで、ものづくりの効率化と生産性の向上を実現する。

ローカルハブ

地方(ローカル)にありながら、世界中とつながる機能(ハブ)を有する都市のことであり、具体的には、十分に国際競争力のある地域独自の資源を生み出し、それによって外貨(人材・資源)を安定的に稼ぎ、それを地域で受け止めるといったダム機能を果たすことができる特定の地方拠点都市のこと。(「地方創生2.0」より引用)



株式会社 広和産業

株式会社 広和産業

文房具用品、医療品、化粧品など様々な製品の検査・包装を行っており、顧客対応の幅を広げる取り組みに力を入れている。人件費が上がっているという課題を抱えていたが、包装工程にパラレルリンクロボットを導入。システムインテグレータとの良好なコミュニケーションによる協業で、ロボットの効果的かつ円滑な導入に成功し省人化を実現させた。

さらに、ロボット導入は品質の安定・向上や社員の意識改革といった効果も生み出している。



大沢工業 株式会社

工場等の自動化・省力化機械の設計・製作やシステム構築を行っており、システムインテグレータとして株式会社広和産業のロボットシステム構築に取り組んでいる。

ACCESS



第38回 南西フォーラム 参加申込書

【送付先】 FAX : 042-770-9077

※ホームページからでも、お申し込みいただけます。

貴社名			
住所			
参加者	部署・役職名		氏名
	部署・役職名		氏名
連絡先	電話		FAX
	e-mail		
今回のフォーラムに期待することは何ですか？ (※自由回答)		参加希望の方はチェックを入れてください <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> さがみはらロボット導入支援センター見学	

※個人情報の取り扱いについて ・ご記入いただいた個人情報は南西フォーラムに関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。・個人情報は、取扱目的以外に利用したり第三者に提供することはありません。

お問合せ先：首都圏南西地域産業活性化フォーラム事務局 (担当：樽川・五島)

株式会社さがみはら産業創造センター 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21

TEL : 042-770-9119 / FAX : 042-770-9077 / HP : <http://nansei-forum.jp>